

事務事業評価表

○基礎情報

課名		公園緑地課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			総従事者	時間外勤務時間	
施策目標	50	公園・緑地を整備する	吉野 大成	管理職	左記以外	再任用短時間	会計年度任用職員	派遣職員	総人工	総時間	一人あたり月平均
				1 人	9 人	2 人	12 人	0 人	16.87 人	1,339 時間	12.4 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の現状値	目標値(R2年度)	実績値		
			H30年度	R元年度	R2年度
市民1人当たりの都市公園面積	3.31㎡/人	8.73㎡/人	3.38㎡/人	3.39㎡/人	3.39㎡/人
(仮称)河童徳利ひろば整備スケジュール	地元や関係機関との連絡調整	供用開始	測量業務の着手	測量業務の完了	用地取得の完了 設計業務の実施 一部工事の施工
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	レクリエーション拠点の整備
2	既存の公園・緑地の再生整備
3	協働による既存公園・緑地の管理運営
4	国や県との連携による事業の円滑な推進
5	0
6	0

(評価の見方) **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった **A** 事業の指標は達成できなかったが、成果があがった **B** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める **D** 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない **E** 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) **実績なし** 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和2年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)													Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	R元予算(円) R元決算(円)	R2予算(円) R2決算(円)	何・誰に対して (対象)	どう働きかけた結果 (手段・方法)	どうなったか(生ま れた成果・効果)	事務事業の指標	R2目標値	R2実績値	評価	取組 時間	事務 改善	休・ 廃止
1	住区基幹公園整備 事業	1	0.24	一般 繰越	158,685,000 ----- 157,800,100	370,443,000 ----- 368,947,880	地権者の協力により、甘沼向原公園、浜竹公園用地を取得した。また、浜竹公園は公園整備を行い、都市公園として供用開始をした。			市民1人当たりの都市公園面積	8.73㎡/人	3.39㎡/人	A	増加		
2	柳島キャンプ場管理 運営事業	1	0.27	一般	0 ----- 0	0 ----- 0	新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため利用制限や休場の対策を行い、感染拡大を防いだ。また、自主事業でグランピングを実施し、閑散期における利用者数の増加につなげた。			年間利用者数	22,200人	14,462人	A	変動 なし		
3	既存公園等改修整 備事業	2	2.36	一般	14,771,000 ----- 7,093,000	15,184,000 ----- 13,680,700	公園の定期巡回、市民からの情報提供及び地元要望により公園施設の改修を行い、施設を適正に管理した。			改修箇所数	12箇所	12箇所	S	変動 なし		
4	市民の森再整備事 業	2	0.19	一般	0 ----- 0	11,500,000 ----- 11,495,000	点検の結果、劣化しておりツリーハウスを利用中止としたため、利用者数は減少した。しかしながら、再整備を行い、1月に新たなツリーハウスをオープンした。			利用者数	9,300人	5,725人	A	増加		

5	中央公園再整備事業	2	0.26	一般	57,023,000	0	新管理棟の建築及び旧管理棟の解体で中央公園の主な再整備が完了し、一定の成果をあげることができた。今後の再整備に向けて課題整理を行った。	中央公園の再整備	—	—	実績なし	減少		
					56,824,900	0								
6	氷室椿庭園建物保存整備事業	2	0.08	一般	0	0	ホームページや広報紙を通じて氷室椿庭園の登録有形文化財の登録を周知し、また必要な修繕等については行ったが、補助金の対象となる工事等は行えなかったため、文化財の補助金申請は未実施。	和室の一般開放再開	建物詳細設計委託	未実施	Z	減少		
					0	0								
7	市営水泳プール管理運営事業	1	0.49	一般	32,728,000	30,282,000	新型コロナウイルス感染症の感染拡大対策により、閉場したため、その周知、対応を行ったほか、令和3年度の開場に向けて準備を進めた。	利用者数	24,450人	未実施	Z	減少		
					31,923,228	20,239,111								
8	公園・街路樹等剪定・除草業務事業（提案型民間活用制度事業）	2	0.56	一般	54,232,000	54,729,000	施工業者との事前調整や現場立会いを実施し、公園の除草清掃及び街路樹等の剪定ができた。また、複数年契約を行うことで、適切な時期、回数での剪定・除草など、より効率的な管理運営が実施できた。	計画的な除草・剪定	計画立案・実施	計画立案・実施	S	変動なし		
					54,231,133	54,728,667								
9	公園愛護会事業	3	0.95	一般	1,796,000	2,035,000	公園愛護会と協力し、花壇の植え替えや除草を実施し園内の美観を維持した。	公園愛護会活動箇所数	50か所	49か所	S	変動なし		
					1,719,124	1,793,200								
10	（仮称）河童徳利ひろば整備事業	4	0.91	繰越	8,943,000	153,568,000	地権者の協力により用地取得が完了した。また、地元有志から組織されるひろば準備委員会との意見交換を行い、設計業務を実施し、一部工事を施工した。令和3年度のひろば整備工事や供用開始に向けて事業の進捗を図ることができた。	公園供用開始に向けたスケジュール	供用開始、維持管理	用地取得の完了設計業務の実施一部工事の施工	A	増加		
					1,933,200	81,390,427								
11	（仮称）高架下公園再整備事業	4	0.00	一般	0	0	平成30年度をもって事業を休止したため、令和2年度の実績なし	公園整備、供用開始に向けたスケジュール	公園整備	休止	実績なし			●
					0	0								
合計					R2予算(円)	637,741,000								
					R2決算(円)	552,274,985								

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)

公園緑地課の第4次実施計画の事業数は、「災害応急活動」「庁内共通事務」の2事業を除き、また広域事業政策課から移管された2事業を加え16事業である。その中で11ある政策的事業における指標の達成度及び事業の実施効果から見ると、「S」3事業、以下「A」4、「Z」2、「実績なし」2事業となっており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも成果を出すことができた。

市民一人あたりに対する公園面積は増加傾向にあるも、施策の目標値に対して実績値が下回っている状況であるため、継続的に公園整備を進めていく必要があるが、その用地取得については予算、地域事情及び地権者の意向による部分があり、慎重に進めていくことが重要であるとする。

公園緑地課の事業は、ほとんどが施設運営及び維持管理的な経費であり、定例的に実施することで良好な施設維持を図るものとしての評価となるが、新型コロナウイルス対策について配慮しつつ、市民からの要望については概ね対応できたことへの評価は高いと考える。

No.1の住区基幹公園整備事業においては、公園空白地であった地域において甘沼向原公園の土地の公有地化及び浜竹公園の新規整備を行い、成果をあげることができた。

No.2の柳島キャンプ場管理運営事業においては、平成30年度から指定管理者制度を導入し、利用者収入による管理運営により、市の歳出はゼロに抑えているが、新型コロナウイルス感染症の影響で休場等を余儀なくされた。その結果、目標達成はならなかったが、閑散期において自主事業の実施を行い、利用料収入につなげることができた。来年度においても、コロナ対策をしつつ、より多くの方に利用していただけるような事業を実施していく。

事業未実施のNo.6の水室椿庭園建物保存整備事業について、庭園内の茶室は耐震強度が足りないことから現在利用を中止しているが、適正な維持管理を行っている。

No.7の市営水泳プール管理運営事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大対策のため閉場したが、翌年度の開場に向けて、コロナ対策の打合せ等、準備を進めた。

職員の時間外勤務については、総時間で1,339時間、一人あたりに換算すると月平均約12.4時間であり、全庁的に見ても少ない方ではあるが、新型コロナウイルス感染症の対応等により、前年度より増加した。引き続き事務改善に取り組み時間外勤務の縮減に向け努めていきたい。

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は－)	事務改善の内容
	－	－

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は－)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
11	(仮称)高架下公園再整備事業	同じ西久保地区からの要望である「(仮称)河童徳利ひろば整備事業」を優先的に進めることとしており、当事業完了までの間平成30年度から引き続き本事業を一時休止することとする。